

## ■平成 24 年度 第 5 回教育研究会議議事録

1. 日 時 平成 24 年 8 月 7 日(火) 13 時 30 分～14 時 45 分

2. 場 所 学術交流会館 特別会議室

3. 出席者

奥野学長（議長）

安保理事、村田理事、今井理事

遠藤委員、中辻委員、川越委員、阪口委員

池田工学研究科長、小崎生命環境科学研究科長、前川理学系研究科長、松川経済学研究科長、萩原人間社会学研究科長、高見沢看護学研究科長、高畑総合リハビリテーション学研究科長、辻現代システム科学域長、伊藤工学域長、高辻地域保健学域長、高橋高等教育推進機構長、寺迫国際交流推進機構長、竹内学生センター長、吉田第 1 学群長、石井第 2 学群長、奥田第 3 学群長、山本第 4 学群長

<オブザーバー>

辻田理事、長澤理事

### [審議事項]

1. 教育運営委員会規程の一部改正について

文部科学省から教職課程認定に際し留意事項がついたことを踏まえ、教職課程特別委員会を設置するための規程(案)について提案があり、大阪府立大学教育運営委員会規程の一部を改正する規程を制定する旨、審議の上、了承された。

### [報告事項]

1. 平成 24 年度科学技術人材育成費補助金「テニュアトラック普及・定着事業(機関選抜型)」の採択について

平成 24 年度科学技術人材育成費補助金「テニュアトラック普及・定着事業(機関選抜型)」を受託した旨、報告があった。本学では平成 20 年度より、若手研究者の自立的な研究環境整備促進事業としてテニュアトラック制を採用している。

2. 文部科学省公募「平成 24 年度原子力人材育成等推進事業」の採択事業の実施について

文部科学省公募「平成 24 年度原子力人材育成等推進事業」について、「地域に根付いた放射線施設活用による関西連携指導者人材育成」事業が採択された旨、報告があった。

今回採択された事業の目的は、放射線に関する高い安全技術を有し、また、住民の不安に対して適

切に対処できる指導者としての人材を育成することである。特に、放射線防護を基盤とした放射線危機管理に関する知識経験をもとに、リスクコミュニケーションの力を身につけた人材の育成と技術向上をめざす。研修の対象となる者は、消防署員、中等教育学校教員や、保健所職員、一般の地方自治体職員、民間の技術者、組織をもって活動する市民グループなど、社会の指導的立場の人々、そして本学を中心に、原子力分野に関心を持つ大学院学生である。

### 3. 平成 24 年度第 2 回教育運営会議議事概要について

平成 24 年 7 月 10 日(火)に行われた第 2 回教育運営会議議事概要について、報告があった。

審議事項として、文部科学省から教職課程認定に際し留意事項がついたことを踏まえ、教職課程特別委員会を設置するための規程(案)について提案があり、原案どおり承認された旨、説明があった。また、各学域または学類において教職課程専門委員会を、全学の委員会として教職課程特別委員会を置くとの補足説明があった。

### 4. 平成 24 年度第 1 回学生委員会(7/24)の概要について

平成 24 年 7 月 24 日(火)に行われた第 1 回学生委員会の概要について、報告があった。

協議事項として、羽曳野キャンパスの新規クラブの設立について承認された旨、説明があった。

また、主な報告事項として学生相談、WEB 学生サービスセンター、ピアサポートの利用状況や、求人検索システムの時間制限の現状について報告があった旨、説明された。

### 5. 平成 24 年度第 3 回国際交流会議議事概要について

平成 24 年 7 月 11 日(水)に行われた第 3 回国際交流会議議事概要について、報告があった。

協議事項として、平成 24 年度在外研究員派遣事業の申請について 1 件の派遣が決定し、8 月 31 日(金)を申請期日として 1 名を追加募集する旨、また、淡江大学(台湾)との学術交流協定締結案が審議され、国際交流会議として承認された旨、報告があった。

さらに、主な報告事項として、事務局より 6 月の国際交流関連行事等の報告と、9 月までの行事予定が確認された旨、説明があった。

### 6. 新大学構想会議大阪府立大学ヒアリング結果について

平成 24 年 7 月 23 日(月)に開催された、新大学構想会議府立大学ヒアリングの結果について報告があった。

新大学構想会議委員からの主な質問は以下の通りである。

- ・全学教育研究組織の概要について。
- ・現代システム科学域の設置経緯、教育内容、平成 24 年度入試状況について。
- ・工学域について、府立大学の特徴と、市大工学部との重複分野について。
- ・生命環境科学域の設置経緯と、他大学の同じような名称の学部と比較した場合の特徴について。
- ・大阪府における看護師、理学療法士等の需要と供給について。

7. その他

労働契約法の改正について、現状の説明があった。

以上